

2020年度AED訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2022年度分)

| | | | |
|--|---|--|--|
| <p>団体名</p> | <p>社会福祉法人 俊英館福祉事業会</p> | | |
|  |  | | |
|  |  | | |

保育園で園児の命を預かり保育を行う上で、保育士のみならず給食職員や事務職員などを含め、職員一人ひとりの自主救護能力の向上、ガイドライン2020や新型コロナウイルス感染症に対応する心肺蘇生法・AEDの使用法や留意点、止血法などの習得及び救急車到着までの応急手当の重要性を認識し、安全管理に対する資質の向上を図ることを目的とし実施した。

実施方法としては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、少人数のグループに分かれて時間差で実施し、普通救命講習と乳幼児の誤嚥性窒息事故を想定した訓練を行う。

訓練器を使用しての心肺蘇生法や異物除去法は、仕組みを理解でき、感覚をつかみやすく、不安や疑問を解消するきっかけとなり、実際に事故に遭遇した際の救護を行う上での緊張や恐怖心が軽減されたというような参加者の声が聞こえた。小児と成人の両方に触れることで感覚の違いも感じてもらった。

活動の成果としては、実際に訓練器を使用し訓練することで、資質や意識の向上を図ることができ、保育園としての安心安全の保障につながったと考えております。